

つ つ じ

経営方針

- 1 利用者の人権を尊重し、一人ひとりの思いに寄り添いながら、安心・安全で質の高いサービスの提供に努め、利用者のご家族の満足度の向上を図ります。
- 2 市町村や他の障害福祉サービス事業所、医療機関等、関係する機関と連携を図り、多様化する地域のニーズに積極的に対応しセーフティネットの役割を果たします。
- 3 質の高いサービスの提供を図るため、人材の育成と働きがいのある職場づくりを推進します。
- 4 経営の安定・強化を図るため、コンプライアンスの遵守及び収支状況の把握や職員の経営意識の醸成により、適正な運営を図ります。

■ つつじ

[障害者支援施設（施設入所支援、生活介護、短期入所）、日中一時支援事業]

取り巻く環境

つつじでは、高齢化、重度化による身体及び認知機能の低下、精神・発達障がい等、多様な障がい特性や幅広い年齢構成に応じた支援のスキル向上が求められています。また、転倒、転落による骨折、怪我 等のリスクが高いため、リスクマネジメントによる、危険予知を含めた対策や適切な支援への取組がより重要となっています。

新型コロナウイルス等の感染症については、予防及びまん延の防止に引き続き取り組みながら、外出、買物や喫茶等、生活に潤いと楽しみが持てるよう努めていく必要があります。

地域の福祉ニーズに対応したサービスの提供については、中山の園グループ全体での調整、関係機関と連携を図りながら、新規入所、短期入所、日中一時支援事業の利用者の積極的な受入れをすることが求められています。

令和6年度【事業の重点事項】

1 人権尊重と虐待防止の意識の徹底

人権尊重や虐待防止等の考え方、適切な対応等について、職員の理解を深めていく必要があることから、人権侵害自己チェックを実施し、不適切な事例の有無の確認、様々な事例を通じた人権尊重と虐待防止に関する研修を実施し、人権擁護の意識徹底を図ります。

また、虐待防止委員会では、個々の支援、身体拘束等のあり方について検討し、拘束解除に向けた取り組みを継続します。

2 安心・安全なサービスの提供

利用者の高齢化・認知機能低下や精神・発達障がい等、障がいの多様化への支援強化のため、OJTや各種研修等を通じて、その特性への理解を深めるとともに、リスクマネジメントによる分析などを行い、危険予知を含めた適切な支援に取り組みます。また、高齢化等に伴う身体介

護等のサービス向上が必要なことから、介護・福祉機器等の導入について検討していきます。
感染症については、引き続き、予防及びまん延の防止に努めていきます。

3 地域福祉の推進

地域の作品展への出品や花プランター設置等を継続していくとともに、音楽ボランティア等の受け入れを積極的に実施し、地域との交流を図ります。

地域における公益活動の取組として、一戸町社会福祉協議会と連携し「青少年健全育成事業」へ講師を派遣して、地元小中学生の福祉教育を推進します。

地域生活支援として、短期入所、日中一時支援事業等については、地域の関係機関と情報を共有しながら積極的に受け入れます。

4 働きがいのある職場づくり

働き方改革を継続して推進するため、業務内容の見直しや効率化に取組み、時間外労働の縮減や有給休暇取得の促進を図ります。

また、「報告・連絡・相談」によるコミュニケーションの円滑化を図り、職場の良い点や必要な改善点を把握し、働きやすく魅力のある職場づくりに繋げるなどの取り組みを進めていきます。

5 経営の安定・強化

利用定員の充足率を高め、経営の安定を図る必要があることから、中山の園グループ及び関係する機関と連携し、新規利用者を積極的に受け入れ、定員の充足を図ります。

また、施設の収支状況等を定期的に確認・共有し、経営の安定・強化にむけて意識の醸成を図ります。